

～ 健口と輝く笑顔のために～ ASSOCIATION

# 歯科衛生だより

発行人/吉田 直美  
 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会  
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023  
<https://www.jdha.or.jp/>

2024 October vol.83

## 世界中でつながる歯科衛生士

公益社団法人 日本歯科衛生士会 副会長 久保山 裕子

### 世界の歯科衛生士との情報交換

2024年7月8日(月)から10日(水)にかけて韓国(ソウル)において、2024年国際歯科衛生士連盟加盟国代表者会議(HoD会議)が開催されました。本会からは、吉田直美(会長)、筆者:久保山裕子(副会長)が出席し、小林ノリヨ(事務主任)が通訳として同行しました。

国際歯科衛生士連盟(IFDH:International Federation of Dental Hygienists)は、1986年6月28日にノルウェーのオスロで正式に設立、IFDHの前身である国際歯科衛生連絡委員会は、1973年にヨーロッパ諸国、米国、カナダ、日本によって設立されていました。

現在、30か国、90,000人の歯科衛生士が会員です。IFDHの目的は歯科衛生士のリーダーシップとコラボレーションを促進すること、口腔衛生・教育・研究・実践を推進することです。また、世界中の口腔の健康の提唱者であるという認知度を高め、口腔の健康は、全身の健康に重要な影響を与えているため、口腔の健康を予防することによって人々の健康を守ることです。そのために世界中から集まり、歯科衛生士にできることについて熱く討議します。2年に1回行われていますが、先回は新型コロナウイルス

感染症の影響があり日本は参加できませんでした。今回は日本をはじめ、20か国の参加がありました。各国の歯科衛生士の活動を報告する場面がありましたが、日本からは「歯科衛生士の基礎教育について」、「コロナ禍のeラーニングによる研修支援について」、「認定制度について」を報告しました。加えて今年初めに発災した能登半島地震での歯科支援チームとしての災害支援活動についても報告しました。



(右から)吉田会長、小林主任(事務局)、筆者

歯科衛生士に関わる制度などは国によって違いはありますが、どの国でも、口の健康を守ることを自分たちの使命と感じて仕事をしていることがわかりました。

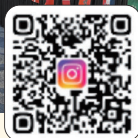


大韓歯科衛生士協会 会長 ファン・ユンスク氏(左)と  
 日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美

現地では各国相互のお土産交換が盛んで、吉田会長も折り紙で交流を図りました。



HoD会議



## お口の健康を守る者としての知識を蓄える

会議と併せて、7月11日(木)から13日(土)までの3日間、「2024年国際歯科衛生シンポジウム(ISHD 2024: International Symposium on Dental Hygiene 2024)」がIFDHおよび大韓歯科衛生士協会の主催で開催されました。会場は、ソウル・江南(カンナム)にあるCOEX(コエックス・コンベンションセンター)で、2010年には「G20サミット首脳会議」も開かれた場所です。



ISHD2024開会式★



開会式イベント

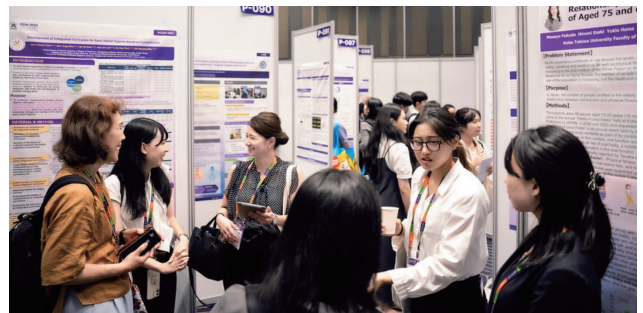
1995年に東京で開催されてから29年ぶり、アジアでは2回目の開催となりました。「お口の健康の中心である歯科衛生士」というメインテーマです。36か国から、ポスター発表135、口演発表103があり、歯科衛生士が研究したことを発表しました。日本からも173人の歯科衛生士が参加して、中には優秀賞をいただいた優れた研究もありました。その熱気に参加者も熱くなり、質問が多く出て時間が足りないほどでした。私たちも最新知識を学んで、自分の国でそれを活かすことができます。



招聘講演 藤原 奈津美 氏(日本歯科衛生学会 幹事)★



座長 宮澤 絢子 氏(日本歯科衛生士会 国際協力委員会 副委員長)★



ポスター発表会場★

上記の★画像の出典元:大韓歯科衛生士協会 国際歯科衛生シンポジウム 2024 ウェブサイト 写真ギャラリー



左から、ベスト口演発表賞 安達 奈穂子氏(東京医科歯科大学)  
ベストポスター発表賞 三好 早苗 氏(広島県歯科衛生士会)

## 世界の歯科衛生士との友情を育む

世界中の歯科衛生士が集まるといって、英語は話せない、そもそも気後れすると感じる方もいらっしゃると思います。私もその一人です。でもこのたびは翻訳アプリを携帯電話に入れ、少し練習をしてから参加しました。そのおかげでコミュニケーションをとることができました。深い話まではできないのですが、なんといっても笑顔と挨拶です。何回も会場で顔を合わせるうちに、すれ違う時に手を挙げ挨拶をすると、笑顔が返ってきます。みんな、自分の患者

さんに全力を尽くして歯科衛生士として頑張っているのだと思うと、とても力をいただきました。

青森の歯科衛生士養成校の学生さんが参加していました。学生のうちから世界をみられるって素敵です。きっと歯科衛生士として働くようになって、この経験は忘れられないことだと思います。また同郷の診療所から一念発起して参加している歯科衛生士にも会うことができました。その方々の感激のコメントも紹介いたします。



### 参加した歯科衛生士のコメント

ISDH2024に参加できたことは、とても光栄に思っています。恩師とお話して、私もいつかAAP(アメリカ歯周病学会)に行ってみたいとお伝えしたところ、「それなら、まず、ISDHよ、絶対楽しいから!」とアドバイスがあり、ISDHを知りました。今年は韓国で開催とのこと。私でも行くことができると、「世界の歯科衛生士と少し触れ合うことができたらいいな」という気持ちで参加しました。

想像を超える楽しさと感動でした。英語は、ちっともわかりませんが、演者や質問している方々は英語でやりとりしています。その場の雰囲気だけでも圧倒と感動です。

ガラディナー(Gala Dinner: 祝賀パーティ)では、日本では同じテーブルにつくことのできない方々とお会いできました。いつも冊子で拝見している方々を目の当たりにして感動しました。

韓国の歯科衛生士の方々とも交流することができました。韓国全土で教育をしている歯科衛生士の教員でした。彼女は4年制を卒業し、韓国の歯科衛生士をアメリカのように独立した業務ができるように頑張っているとのことでした。

会場は全てにおいて活気と熱気がある状態で、テレビが映画を見ているような世界でした。もしかすると、まだまだISDHのことを知らない歯科衛生士も多いのではないかと感じました。私もそうでしたから。歯科衛生士会に入会していれば、参加費用も一般より優遇されています。歯科衛生士会に入っていてよかったと思いました。

小川 希和子(佐賀県歯科衛生士会)

今回初めて、国際歯科衛生シンポジウム(ISDH)に参加しました。先輩より「ISDHは活気があり楽しいみたいよ!」と話を頂き、個人的に知人と2人で参加をすることを決め、何度も打ち合わせし、ドキドキしながら手続きを進めました。知らない土地での登録や移動でしたが、実際に参加してみると日本では見られない世界がありました。各国で発売、使用されている機械や材料、話題となっている内容が記載されたポスター発表、歯科衛生士の活動方法やこれから必要とされることの講演が行われました。

それだけでも刺激的でしたが、ディナーで一緒させていただいた韓国(大韓歯科衛生士協会)の歯科衛生士の方と翻訳アプリを使い、世界ではどんな環境で歯科衛生士が活躍しているのか、仕事とプライベートをどのように両立させているのかなどを語り合いました。短い時間でしたが、内容の濃い時間を過ごすことができました。また、ディナーではドレスアップをして交流を楽しむ皆さんの姿はユーモア溢れた時間でした。日本の歯科衛生士も、もっと一人ひとりが自立して活躍できるのではないかと思います。同じ目標を持ち、歯科衛生士の切符を手にした皆さんが、活躍できるシステムが日本でもあるのではないかと思います。まずは、その一歩として歯科衛生士会に所属し情報を得ること、また、得た知識や情報を日々の診療で生かすことが大切だと改めて感じました。チャンスは自分で掴む。Just do it!

今回お会いできた皆さんに感謝申し上げます。

島川 由佳(福岡県歯科衛生士会)

### 国際歯科衛生シンポジウム(ISDH) 開催予定

- 2026年7月9日~11日 イタリア(ミラノ)
- 2028年6月 アラブ首長国連邦(ドバイ)
- 2030年 オランダ(ロッテルダム)



2024年国際歯科衛生シンポジウムウェブサイト  
「写真ギャラリー」



IFDHウェブサイト

国際歯科衛生シンポジウム ウェブサイト 「写真ギャラリー」では、本記事で引用した画像以外にも、開催会場の画像が多数保存されています。

また、IFDHのウェブサイトには歯科衛生活動に役立つ論文や情報が掲載されていますので、ご案内いたします。

(日本歯科衛生士会 広報委員会)

全国各地から 山形県歯科衛生士会

自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援  
～通所サービスにおける口腔ケア充実支援事業～

YAMAGATA

まんえん

令和3年から3年間継続して行った事業が終了いたしましたので報告します。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での事業であり、受け入れてくださる施設が少なかったり、受け入れに関しても人数や条件(新型コロナウイルス陰性者)の制約があったり、クラスター発生で延期となったりと思うような活動ができませんでした。その中でもいくつかの結果と課題を見いだせたことは有意義な事業であったと思います。

事業目的

山形県では地域ケア会議が全市町村で開催され、在宅生活者の口腔ケア等について助言を行っています。家族、ヘルパー、施設等の助けを必要としている独居の高齢者が多くいます。そのため、最後の砦としてデイサービス、デイケアでの確認、手助けをお願いしたいと助言しますが、いまだに昼食後の口腔ケアが充分に行われていない施設も見受けられます。そこでデイサービス、デイケアでの口腔ケアが充実するような活動で口腔ケアが浸透することを目的に行いました。

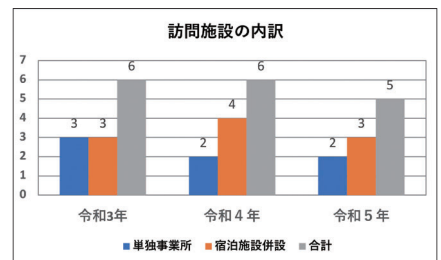
15名のうち、診療所勤務歯科衛生士6名、行政1名、連携室1名、その他は地域保健活動者7名  
3年目は、山形県在宅歯科医療連携室と共催  
その他の職種(介護支援専門員、看護師、介護職員等)

方法

- 1回目 各施設に歯科衛生士1～4名で訪問し、食前体操、食事風景、口腔ケアの流れを見学し、「用具について」「歯磨きについて」「職員の関心について」の評価実施
- 2回目 1回目の評価を基に、職員向けの研修会を実施
- 3回目 前回の指摘の改善点、改良点、取り組みを見学し再評価  
必要に応じて回数を増やし、次年度に再訪問を実施。

1年目の活動

歯科衛生士の就業者数が少ない地域を考え、最上地区、北村山、西村山地区を強化。2年目は、引き続き活動の充実を図るために、同じ地域で活動しました。3年目は、若い歯科衛生士から「なかなか高齢者に関わる機会がない」との訴えがあり、地域を広げ置賜地区でも活動を行いました。口腔ケアの充実と若い歯科衛生士の育成も目標に加えました。



事業内容

対象者：デイサービス、デイケアを行っている事業所の職員、利用者

対象施設：地域包括支援センターの協力により選定した事業所

令和3年 赤○ 令和4年 緑○ 令和5年 青○

令和3年 6事業所

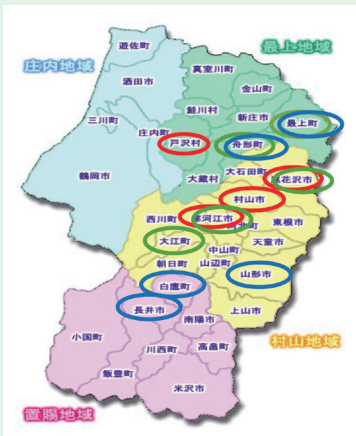
最上地区2か所、  
北村山地区2か所、  
西村山地区2か所

令和4年 6事業所

最上地区2か所、  
北村山地区1か所、  
西村山地区3か所

令和5年 5事業所

最上地区2か所、  
山形地区1か所、  
置賜地区2か所



※17事業所のうち、2年間にわたって関わった事業所 3事業所  
デイサービス単独事業所6か所  
宿泊施設併設等事業所8か所

従事者：歯科衛生士(事業に興味のある歯科衛生士)

令和3年 7名

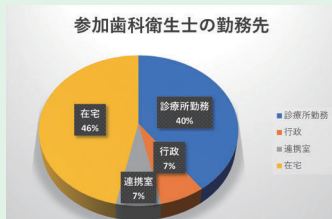
令和4年 7名

令和5年 9名

3年継続参加 2名

2年継続参加 5名

1年間参加 8名



得られた成果

- 口腔ケアに取り組んでいる事業所からは、「業務の見直しができた」「すぐに実施できるアドバイスももらった。」との意見があり大変喜んでいただき、一定の効果があつたと思います。
- 全く取り組んでいない事業所では、2年越しで数回にわたり説明を行い、職員の工夫が徐々に見えてきた施設もありました。助言を求められ、次の年訪問助言した施設もありました。
- 宿泊付きのデイサービスでは、用具などは揃っていますが使用方法の改善が必要だったり、消毒の方法をアドバイス

したりで改善が見られました。

- 歯ブラシなどの管理の説明や研修会を通して、職員の方々がそれぞれ歯ブラシの管理方法や食前体操の方法など工夫していただきました。
- 他の地区の若い会員から事業に参加したいという希望があり、活動範囲を広げることになりました。また、診療所勤務の歯科衛生士も施設などの高齢者の口腔ケアに関心があることがわかり、心強く感じました。
- 山形県在宅歯科医療連携室と一緒に行動することで、山形県の地域ごとの現状や課題を共有することができました。
- 事業に参加した歯科衛生士は、積極的に口腔ケアの指導、介助、講話、口腔機能向上ゲームの実施、事業所への助言を行いました。参加者からは好意的な意見が多く出されました。
- 訪問したことから栄養の重要性が感じられ、多職種を含めた研修会を開催することができ、共有することができました。
- 訪問、調査、評価を基に、「口腔ケアチェックリスト」を作成しました。

### 今後の課題

- 施設では口腔ケアに力を入れているのに、無歯科医地域のため通院治療、訪問治療が難しいという地域課題が見え、改めて行政や地域歯科医師会との連携が必要と感じました。
- 施設の目標や方針が変わらない場合、継続した口腔ケアが行われているのですが、責任者や方針が変更となり、口腔ケアが十分に行えていない施設もありました。施設ごとのマニュアルや継続した勉強会が必要であり、施設でのマ

ニュアル作成や歯科からの働きかけが必要と感じました。

- 「口腔ケアチェックリスト」を作りましたが、さまざまな施設での問題点を盛り込んだため、忙しい介護職の方々には大量の項目となったようです。今後は、「在宅でのチェックリスト」(仮)「口腔ケアに取り組んでいない施設でのチェックリスト」(仮)「すでに取り組んでいる施設でのチェックリスト」(仮)を作り、地域ケア会議で配布できるようなチラシ作成の必要があると考えています。
- 診療所勤務歯科衛生士、高齢者に接する機会の少ない歯科衛生士の育成の方法を考えていかなければならないと思います。

### 活動の様子



研修会講話



ゲーム指導



持参している歯ブラシ



歯ブラシの管理



ケアの介助の様子



職員の研修会

【製造販売元】SHIKIEN株式会社  
新潟県新潟市秋葉区新津四ツ角野1735

世界で唯一の歯科医療に貢献する  
**株式会社 松風**  
www.shofu.co.jp  
本社●〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

公益財団法人 **ライオン** 歯科衛生研究所  
設立60周年記念イベント

業界トップランナーと  
100年時代のお口の未来を  
考える1日

参加費 **無料** 先着順

オーラル  
**未来  
会議**

**日時** 2024年10月27日(日)  
**時間** 13:00-16:10 予定  
※時間に変更になる可能性があります。WEBサイトにて詳細をご確認ください。

**開催形式** 会場開催ならびにオンライン配信  
**会場**: JPタワーホール&カンファレンス  
(JR東京駅徒歩1分 地下道より直結)  
(対象) 歯科衛生士、歯科医師、看護師、栄養士、介護士など

お申込、プログラムの詳細は  
こちらから。

**先着順で受付中!**

公益財団法人 **ライオン** 歯科衛生研究所

# 赤ちゃん・子どものお口の発達に合わせた食事のポイント

乳幼児期には、身体と心の栄養が、授乳や離乳食、幼児期の食事を通して摂取されます。

楽しく口を使う経験を積み重ねることにより、お口は育っていきます。この時期は個人差があるので、あせらず周囲とのコミュニケーションを大切にしながら、お子さんの成長に合わせて食事の支援をすることが重要です。お子さんが「食べるのが楽しい」と感じられるよう、日々の食生活の参考にしてください。



## 1 「吸う」から「食べる準備」へ(0か月から4か月頃)

赤ちゃんは唇で深く乳首をくわえ、乳首を上あごのくぼみに入れて、舌を前後に動かしてお乳を吸います。4か月頃からは、おもちゃをなめたりしてお口で遊ぶようになり、スプーンや離乳食の受け入れの準備が始まります。



## 2 離乳食を食べながら口の動きを学ぶ(5か月から11か月頃)

	歯と口の発達 ※個人差があります。	食形態と食事のポイント	食事の注意点
5~6か月頃 離乳初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下の前歯が生えはじめる。</li> <li>● 食べ物を唇で取り込み、口を閉じてゴクンと飲み込める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食形態：ヨーグルトぐらいの滑らかにすりつぶした状態</li> <li>● スプーンを下唇の上に置き、食べ物を上唇で取り込むのをゆっくり待つ。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浅めのスプーンを使う。</li> <li>● スプーンを口の奥まで入れない。</li> <li>● 上あごにスプーンをこすりつけない。</li> </ul>
7~8か月頃 離乳中期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上の前歯が生えはじめる。</li> <li>● 舌と上あごで押しつぶして食べられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食形態：豆腐ぐらいの舌でつぶせる固さ</li> <li>● スプーンで水分を飲ませる練習をはじめる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お座りが上手になったら、足底が床または椅子の補助板等につくよう座らせ、ベルトやクッションで姿勢を安定させる。</li> </ul>
9~11か月頃 離乳後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上下の前歯が4本ずつ生えそろう。</li> <li>● 前歯でかじり取り、奥の歯ぐきでつぶして食べられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食形態：完熟バナナぐらいの歯ぐきでつぶせる固さ</li> <li>● おにぎりや少し大きめに切ったゆでた野菜などで手づかみ食べを促していく。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歯の生え方が遅い場合は、かじり取りや歯ぐきでの噛みつぶしは難しいので、食形態は無理に進めない。</li> </ul>






**ソニックアープレミアムオールインワンブラシ**

HX9091/25 (ホワイト)

**特長1 歯垢除去**

角度のついたブラシがあらゆる角度から歯垢に届く。

**特長2 ステイン除去**

毛先一本一本が三角形の形をしているため、気になるステインを除去。

**特長3 歯肉ケア**

ブラシヘッドのサイドの毛束で優しくブラッシングし歯肉をケア。








是非、院内セミナーでご体感下さい。院内セミナーのお申込みはこちらから

●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

●ご使用に際しましては、製品添付の取扱説明書をお読みください。

輸入元 株式会社 フィリップス・ジャパン  
販売 株式会社 モリタ 大塚本社：大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380 2525  
東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834 6161

お問合せ お客様相談センター＜歯科医療従事者様専用＞ T 0800.222.8020(フリーコール)  
www.dental-plaza.com

天然歯本来の歯面を

ノンフッ素歯面クリーニング

Adonest® FINE

DENTAL FINAL POLISHING CREAM without fluoride

アドネスト® ファイン

歯面研磨材(仕上げ研磨)

ノンフッ素  
ピーチフレーバー

Adonest® COARSE

DENTAL SCALING CREAM without fluoride

アドネスト® コース

歯面研磨材(粗研磨)

ノンフッ素  
ライチフレーバー



各種歯面処置前のクリーニングにご使用いただくことにより、天然歯本来の歯面を提供し、処置の効果を最大限発揮しうる環境を整えるプロケア用のペーストです。

アドネスト ファイン  
■仕上げ研磨材(一般的名称:歯面研磨材)  
■一般医療機器 医療機器届出番号 13B1X0015400022

アドネスト コース  
■粗研磨材(一般的名称:歯面研磨材)  
■一般医療機器 医療機器届出番号 13B1X0015400023

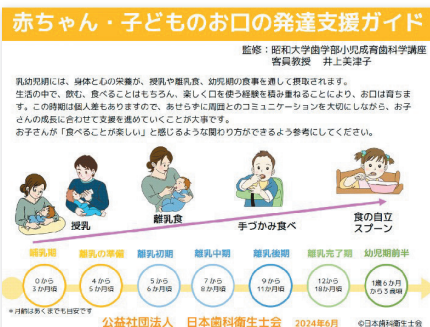
製造販売業者  
ネオ製薬工業株式会社  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号  
Tel. 03-3400-3768(代) Fax. 03-3499-0613  
お問い合わせ ☎ 0120-07-3768

### 3 歯を使って噛むこと(咀嚼)を学ぶ(12か月から3歳頃)

	歯と口の発達 ※個人差があります。	食形態と食事のポイント	食事の注意点
12~18か月頃 離乳完了期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥歯が生えはじめる。</li> <li>●舌を動かして、食べ物を奥歯や歯ぐきのにせ、噛みつぶすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食形態：肉団子ぐらいの歯ぐきで噛める固さ</li> <li>●手づかみ食べをたくさん経験させ、自分に合った一口量を調節し覚えるよう練習する。</li> <li>●スプーンを持つ仕草が見られたら、スプーンを持たせる。</li> <li>●自分でコップから水分を飲む練習をする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●繊維のある肉・野菜は柔らかくなるまで加熱するなど、調理を工夫する。</li> </ul>
1歳6か月~3歳頃 幼児期前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳歯20本が生えそろってくる。</li> <li>●歯を使って噛むことにも慣れてくるが、まだすりつぶすことは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食形態：「大人の食事より柔らかかめに、薄味で、食べやすく」が基本</li> <li>●スプーンやフォークを使って食べるようになるので、発達に合わせて使う練習をする。鉛筆握りができたら箸を使う練習をはじめます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食べにくい食材は包丁を入れて噛みやすくしたり、まとまりにくいものはとろみをつけるなど工夫する。</li> </ul> 

### 4 子育て支援に関わる方は、ぜひご活用ください!(支援ガイド&研修動画)

日本歯科衛生士会では、子育て支援に関わる方にご活用いただけるよう、「赤ちゃん・子どものお口の発達支援ガイド」を作成しました。併せて、支援ガイドを監修していただいた講師による研修会の動画を、期間限定で配信しています。詳しくは、日本歯科衛生士会のウェブサイトをご覧ください。



赤ちゃん・子どものお口の発達支援ガイド  
監修：昭和大学歯学部小児成育歯科学講座 客員教授 井上美津子氏

乳幼児期には、身体と心の発達、授乳や離乳食、幼児期の食事を通して摂取されます。生活の中で、飲む、食べることはもちろん、楽しく口を使う経験を積み重ねることにより、お口は育ちます。この時期は個人差もありますが、あせらずに周囲とのコミュニケーションを大切にしながら、お子さんの成長に合わせて支援を進めていくことが大切です。お子さんが「食べるのが楽しい」と感じるような関わり方ができるよう参考にしてください。

授乳 離乳食 手づかみ食べ 食の自立


0から3か月頃 4から6か月頃 6から7か月頃 7から11か月頃 11から12か月頃 12から18か月頃 18か月頃~3歳頃

公益社団法人 日本歯科衛生士会 2024年6月 ©日本歯科衛生士会

#### 研修会動画配信

- テーマ 「乳幼児の食べる機能の発達とその支援」
- 講師 昭和大学歯学部小児成育歯科学講座 客員教授 井上 美津子氏
- 期間 令和6年10月1日~令和6年12月31日

支援ガイドはダウンロードしてご活用いただけます。  
(公益社団法人 日本歯科衛生士会地域歯科保健委員会)



月刊 デンタルハイジーン 別冊

臨床の？が！に変わる！

## ペリオ&インプラントの疑問とエビデンス

大月基弘 編著

歯周治療とインプラントのメインテナンスに、根拠と自信をもって取り組むために！

歯科衛生士にとって身近な歯周治療とインプラント治療の疑問をエビデンスに基づいて徹底解説！明日からの臨床を根拠と自信をもって進めるためのガイドブックです。

- AB判/136頁/カラー
- 定価 3,850円(本体 3,500円+税10%)
- 注文コード:390730



## デンタルハイジーン BOOKS 対話形式でわかる！ 歯科医院で伝えたい栄養のこと

手塚文栄 編著

これならできるかも！ 食生活や食習慣の指導がもっと楽しくなる本！

「歯科医院での食事指導ってどんなことなの?」「歯科衛生士に必要な栄養の知識は?」…歯科衛生士ができる食事指導について、対話形式で分かりやすくまとめました!

- A5判/136頁/2色刷り
- 定価 3,960円(本体 3,600円+税10%)
- ISBN978-4-263-46332-1



SUNSTAR

Brand New on June 21<sup>st</sup>



BUTLER®

すべてはオーラルケアがつづくために

BUTLERは「プロフェッショナルケア」と  
「セルフケア」のためのブランドです。  
適切なオーラルケアが途切れることのない未来を、  
みなさんと一緒につくっていきます。

詳しくはBUTLER  
ブランドページをcheck



製品についてのご質問・ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

サンスター株式会社

〒569-1195  
大阪府高槻市朝日町3番1号  
TEL:072-682-4733(受付時間:平日9:00~17:00)  
FAX:072-684-5669

Club Sunstar Pro

サンスターと医療従事者の声でつくる会員サイト  
商品情報はClub Sunstar Proからもご覧いただけます。



®登録商標。BUTLER®は登録商標です。2407HR作成